

グリーン・ツーリズム 農山漁村

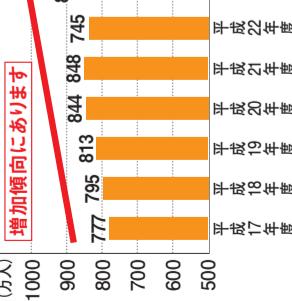
ずっと
行きつけの場所へ

グリーン・ツーリズムとは、農山漁村において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動です。近年、国内をはじめ海外からの旅行者のニーズは、その土地ならではの体験や地域の人との交流を楽しむ旅へと変わりつつあります。農山漁村への関心が高まっています。魅力あふれる農山漁村へ、みなさんもこの夏、家族や仲間と、出かけてみませんか？

文／宗像幸彦 (p.12)、久ヶ澤和恵 (p.13)、吉永さおり (p.14)、柳野明子 (p.15) 写真／多田昌弘 (p.13・15) 写真提供／© moonbase / amanaimages (p.8-9)、まちむら交流きこう (p.10-11)、キープ協会・白州郷牧場 (p.12)、信州いいやま観光局 (p.14) イラスト／ひろいまきこ (p.10-11)



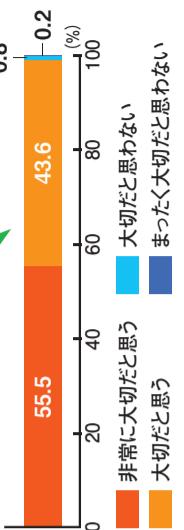
グリーン・ツーリズム
施設年間延べ宿泊者数



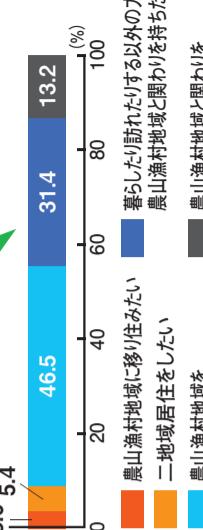
観光に関連した事業を実施している農業経営体

年度	平成17年(A)	平成22年(B)	対前比(B/A)%
農業物販売所の利用	33.8	40.8	0.2
実家や親せきの農家の手伝い	15.5	23.4	0.2
自然体験・レクリエーション	17.4	27.7	0.2
観光農園の利用	15.6	25.0	0.2
短期(数日程度)の暮らし	12.1	14.4	0.2
農家レストランの利用	11.1	31.5	0.2
農作業体験	9.1	14.6	0.2
長期(1か月程度以上)の暮らし	6.4	10.1	0.2
農家民宿の利用	3.5	16.4	0.2
自分の子どもの体験型修学旅行、子ども体験学習	2.7	13.1	0.2
滞在型市民農園の利用	0.6	6.4	0.2
その他	0.4	8.0	0.2
農山漁村地域と関わる都市住民アンケート調査(回答総数3,320人)	2.6	13.2	0.2

農山漁村でしたいことがある活動
と今後したい活動は？(複数回答)



今後、農山漁村とど
んな関わりを持ちたいと思
う？



資料：国土交通省「農山漁村に関する意識調査」(平成23(2011)年2月調査)
注：都市住民を対象として実施したインターネット調査(回答総数1,081人)

農山漁村地域と関わる都市住民アンケート調査(回答総数3,320人)

**ココでしか味わえない
魅力がいつもぱい!**

農產物直売所

朝採れ野菜や果物のほか
手作りの加工品がズラリ!

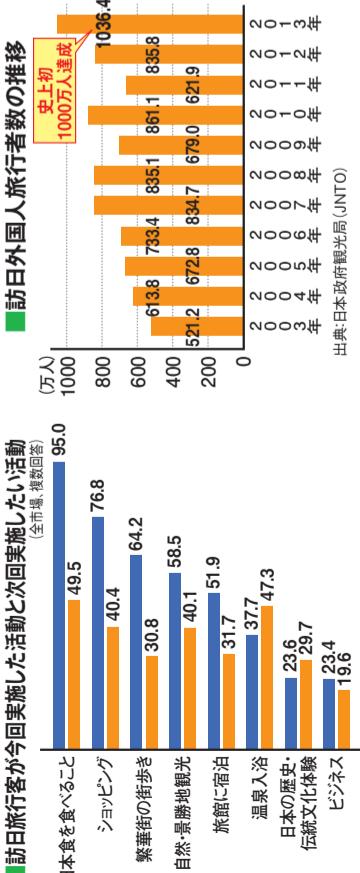


その日の時に収穫した野菜や果物などを手ごろな価格で購入できる新鮮な農産物を手作り味で楽しめる施設です。農家の手作り味を楽しむことができます。新鮮さと手の農家の顔が見える安心感で人気を得ています。



体験施設
農業体験から加工体験まで
その道のプロに教わる!

農業体験から加工体験まで
その道のプロに教わる!



外国人旅行者も日本の農山漁村に興味津々

平成25年、訪日外国人旅行者数は、初めて年間1000万人を達成しました。外国人旅行者の中で、実際に自然体験ツアーや農山漁村体験をした人は80%にもまだ少ないものの、今後体験してみたかった人はその2・5倍以上となるとの調査結果が出ています。

その他、日本の歴史や伝統文化体験、日本の生活文化体験など、農山漁村で体験できる活動にも関心が集まっています。

グリーン・ツーリズムの関連では、廃校を交流拠点として、子どもたちに生き物が豊かな里山を活用した体験プログラムの提供や、魚料理、離島の漁村景観などの海の資源を活用した旅行商品の開発、遊休農地を農作業体験や環境学習の場として消費者との交流を実施するなど、地域資源を活用した様々な取り組みが行われています。

このような取り組みの推進により、都市と農山漁村の交流人口の増加、地域における雇用機会の確保と所得の増大を図り、農山漁村の活性化や地域コミュニティの再生、さらには都市住民の農林漁業・農山漁村への理解の増進が期待されています。

「シ」を改訂。政策の展開方向として、人口減少社会における農山漁村の活性化の必要性が位置づけられ、都市と農山漁村の交流等の推進にあたり、福祉、教育、観光との連携を強化することとしています。

このうち、教育との連携では農林水産省、文部科学省、総務省が連携し、平成20年から「子ども農山漁村交流プロジェクト」に取り組んでおり、小学校における農山漁村での長期宿泊体験活動を推進しています。

観光との連携では、農林水産省と観光庁との間で平成26年1月に「農觀連携の推進協定」を締結。農山漁村の魅力と観光需要を結びつけるため、観光事業者と連携したグリーン・ツーリズムの取り組み、6次産業化による特産品の開発、地域ならではの食や森林を活用した観光の取り組みなどを推進しています。また、政府として「2020年に訪日外国人旅行者数2000万人の高み」を目指していることを踏まえ、海外に向けて我が国の農山漁村の魅力発信、訪日外国人旅行者の農山漁村への誘致などを積極的に図っていく」としています。

農山漁村の魅力を教育や 観光分野と結ぶ取り組みも!

農林水産省では、今年の6月に「農林水産業・地域の活力創造プラ



- 一般財団法人
都市農山漁村交流活性化機構
(まちむら交流機構)

<http://www.kouryu.or.jp/>

オオーライ! ニッポン会議
<http://www.kouryu.or.jp/ohrai/>

農林漁業体験民宿、
農業家レストラン、農産物直売所
<http://kouryu.or.jp/gt/im/index.html>

ふるさとふれあいプロジェクト
<http://f-fouen.jp/>

親子で楽しめる「旅いく」
～子ども（3～12歳）の「生きる力の芽」
を育てる、ホンモノ体験が満載！～
(株)JTコーポレートセールス)

<https://tabi-ikj.tjbwt.com/>

旅の発見（株式会社ティーケート）
<http://tabihatsu.jp/>

どなりーな
～お気に入りの田舎を見つけよう～
(とまるる株式会社)

<http://tomarina.com/>

自然体験・交流の旅「グリーン・エコー」
(株式会社農協観光)
<http://ntour.jp/tour/shop/index.php>

じゃらん.net
(株式会社リクルートライフスタイル)
<http://www.jalan.net/>